

# 事業概要【 AI観光コンテンツ制作を通じた課題解決型人材の確保へ！

旧制度（推進）

## 交流人口拡大とコアな関係人口の整備事業】

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	129,360千円 (29,040千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI観光コンテンツ制作等を契機に、西川町に関わる複業人材のコミュニティをつくる</li> <li>・複業人材の持つ多様なスキルを活用し、地域が抱える課題の解決を図る</li> <li>・AI観光などによる交流人口と積極的に関わりを深め、関係人口の創出を図る</li> <li>・交流人口、関係人口の拡大を推進し、西川町へ新しい人の流れをつくる</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル観光コンテンツの整備</li> <li>・既存コンテンツの運用と新規コンテンツの整備 (負担金) 23,540千円</li> <li>○複業人材の活用</li> <li>・複業人材とのマッチング及び伴走支援 (負担金) 3,300千円</li> <li>○事業承継の支援</li> <li>・事業承継プラットフォームの運営及びマッチング (負担金) 2,200千円</li> </ul>	<p>観光客      AI観光等      複業人材等</p> <p>交流人口      +      関係人口</p> <p>人の流れをつくる</p>	
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①関係人口・課題解決型人材登録者数 (+185人)</li> <li>②移住者数 (+90人)</li> <li>③観光入込数 (+8,500人)</li> <li>④新たな商品・サービスの開発、経営改善 (+26件)</li> </ul>	関連URL	<a href="https://www.town.nishikawa.yamagata.jp">https://www.town.nishikawa.yamagata.jp</a>

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	774,354千円 (50,681千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	カヌーを柱とした町の魅力や強味など資源を再定義し、カヌースプリント競技の全国規模大会や合宿誘致をはじめ、観光誘客のためのレジャーカヌーやSUPなどウォーターアクティビティの充実(カヌービレッジ構想)や、テレワークやワーケーションが可能なコワーキングスペースの整備などにより、これまで取り込めなかった人々や民間企業を呼び込む取組を進め、関係人口・交流人口の拡大を図ることで人の循環をつくり、引いては移住・定住に結び付ける。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>町の自然環境(湖と山)を生かし、柱であるカヌーを競技とレジャー両面で行うことができ、テレワークやワーケーションもできる拠点整備。もともとの観光資源(日本百名山の月山や朝日連峰登山、山麓の温泉など)と絡めた誘客にも力を入れ、交流人口や関係人口拡大の加速化を目指す。</p> <p>■R7(カヌーセンター外構工事の一部・備品整備等) ※以下概要 ▼施設整備等(施設整備・用地造成を除く)の内容: 43,881千円 【外構工事の一部・監理】13,526千円 外構工事の一部12,958千円、工事監理568千円 【備品等整備】30,355千円 カタマラン7,590千円、エルゴマシーン5,390千円、ほか ▼効果促進事業(ソフト事業)の内容: 6,800千円 合宿補助金制度創設、カヌーセンター運営支援(人件費)</p>		  
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本施設の利用者数 (+75,000人) ②県外チームの合宿件数 (+18件) ③東北大会以上の大会開催数 (+6件) ④レジャーカヌーの観光客数 (+1,650人)</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/">https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/</a></p>

# 事業概要【新しい観光コンテンツ創出によるサステナブルツーリズム事業】

旧制度（推進）

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	302,399千円 (62,510千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>○交流人口拡大に向け、戦略を明確にして地域資源を活かした魅力的で持続可能なツーリズムの展開を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル活用（メタバースの構築運用、オンライン会の開催等）による新たなファン層を獲得する。</li> <li>・自然と山の恵みを活かした西川町らしい持続可能な観光コンテンツ（ONガス、サウナ等）を充実する。</li> <li>・オール西川での受入体制（町民ボランティア育成、デジタルサイネージ拡充等）を整備する。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル活用などによるファン層獲得                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタバース運用と増築・オンライン会稼働（委託料・負担金）7,024千円</li> <li>・仙台圏向けプロモーション（負担金）2,131千円</li> <li>・インバウンド向けプロモーション（委託料）2,156千円</li> <li>・情報誌の制作・掲載（手数料・委託料・負担金）5,390千円</li> </ul> </li> <li>○持続可能な観光コンテンツ充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ONSENガストロミーの継続と新ツーリズムの開催（委託料・負担金等）28,038千円</li> <li>・地元食材「月山和牛」の活用（負担金）7,504千円</li> <li>・大自然でととのうサウナイベントの開催等（負担金）1,200千円</li> </ul> </li> <li>○オール西川での受入体制整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー招聘によるマーケティング定期実施（負担金）6,752千円</li> <li>・ガイド育成研修（負担金等）115千円</li> <li>・案内誘導看板(デジタルサイネージ)の設置（委託料）2,200千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①国内外のコアなファン層数（+1,000人）</li> <li>②町内観光ボランティア数（+100人）</li> <li>③持続可能なコンテンツ創出数（+10件）</li> <li>④メタバースを活用したオンライン会参加者数（+400人）</li> </ol>		
	関連URL	<a href="https://www.town.nishikawa.yamagata.jp">https://www.town.nishikawa.yamagata.jp</a>	

# 事業概要【交流・関係人口拡大からの移住・移転の推進事業

旧制度（推進）

～子育て世代に移住先として選ばれる地域を目指して全力伴走！！】

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	447,900千円 (96,162千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏へアンテナショップの設置、また物販交流事業により交流及び関係人口の拡大を図る。</li> <li>・異地域留学を受け入れ子育て目線からの関係人口拡大を図る。</li> <li>・キャンピングカー等での移住体験や移住コンシェルジュにより移住の促進を図る。</li> <li>・英語教育や台湾との国際交流、農業体験等の特色ある学校づくりに注力し選ばれる地域を目指す。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○首都圏からの人の流れづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6設置したアンテナショップを利用した、町のPR促進（委託料）3,931千円</li> <li>・情報発信、物販交流等（委託料・負担金）8,592千円</li> <li>・関係人口の「見える化」による交流・関係人口創出等（委託料）6,518千円</li> </ul> <p>○子ども目線からの契機づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・い地域留学の受け入れ（保・小）（委託料）22,735千円</li> <li>・課題解決型イノベーションに向けた交流等（委託料）1,729千円</li> </ul> <p>○移住体験の推進、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らし体験住宅の提供、プロモーション（委託料）8,383千円</li> </ul> <p>○選ばれる地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育や台湾交流等特色ある学校づくり（委託料・需用費）40,072千円</li> </ul>			
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①本事業による移住体験者数（+130人）</li> <li>②関係人口者数（+115人）</li> <li>③生産年齢人口の抑制数（+89人）</li> <li>④移住者数（+90人）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/">https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/</a></p>	

# 事業概要【共に前へ！まちの強みとデジタルを融合させた選ばれる産業地域の構築に挑戦】

旧制度（推進）

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	218,665千円 (71,625千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代の地域産業を担う人材の掘り起こし、人材の確保を図る</li> <li>・地域で始めたい、学びたい、手がけたいなど、西川町でチャレンジできる環境づくりを整備する</li> <li>・地域が抱える課題解決を図るため、都市圏の企業ノウハウや高度スキル人材とのマッチング機会を創出する</li> <li>・町内事業者のデジタル化及びDXを推進し、経営のパワーアップを後押しする。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>(1) 次世代の地域産業を担う人材の掘り起こし、人材育成</p> <p>①スキーム点検、セミナー開催（需用費、委託料、負担金）4,275千円</p> <p>②創業起業スタートアップへの支援等（需用費、役務費、委託料、負担金）15,500千円</p> <p>③デジタル人材の育成（需用費、使用料、委託料、負担金）1,500千円</p> <p>④短期ワーカー、外国人留学生等の受入支援（費用弁償、委託料、負担金）8,000千円</p> <p>(2) 外部人材等とのマッチングに要する経費</p> <p>①企業及び人材とマッチング支援（需用費、役務費、委託料、負担金）6,900千円</p> <p>②仕事と暮らし体験の受入れ（費用弁償、需用費、使用料、委託料、負担金）4,500千円</p> <p>(3) 町内事業者のデジタル化及びDXの推進</p> <p>①DXのニーズ調査、デジタルを活用した企業情報の発信4,400千円</p> <p>②デジタル実装体験の開催（需用費、使用料、委託料、負担金）8,550千円</p> <p>③新商品開発等への支援（需用費、役務費、委託料、負担金）15,000千円</p> <p>④都市圏の企業との連携共創に対する支援（役務費、使用料、委託料）3,000千円</p>		<p>地域産業応援プラットフォーム (にしかわ創生経済会議)</p> <p>イノベーションの創出 + 地域産業の 高付加価値化</p> <p>↓</p> <p>持続可能な 産業地域づくりを 実現する</p>
KPI	<p>①地域における起業者数 (+25人)</p> <p>②育成人材数 (+50人)</p> <p>③成約件数 (5件)</p> <p>④プロフェッショナル人材とのマッチング件数 (+35件)</p>	関連URL	<a href="https://www.town.nishikawa.yamagata.jp">https://www.town.nishikawa.yamagata.jp</a>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【3町の強み（自然・花・リモート環境）を活かしたワーケーション推進事業】

申請者	山形県西川町ほか2自治体				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	834,827千円 (288,584千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>3町が連携し、観光地やコワーキング拠点など受入環境の高付加価値化・機能向上を目指す。</li> <li>地域資源を活用した周遊型の観光体験プログラム・起業ワーケーションツアー提供により、消費額の増加を図る。</li> <li>テレワーカーとの交流や地域の魅力把握により、町民の観光に関わる受入心や起業マインドを醸成する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ツアー・ワーケーション受入環境整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地の高付加価値化向上費（負担金等）81,901千円</li> <li>・コワーキング拠点の機能向上費（委託料等）31,432千円</li> <li>・公園設備等のリニューアル費（工事請負費等）22,605千円</li> <li>・コワーキング施設案内窓口整備費（委託料等）5,000千円</li> </ul> </li> <li>○サステナブル旅行企画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フラワーリズムの定期的開催費（委託料等）2,200千円</li> <li>・3町の周遊ツアー企画費（負担金）3,900千円</li> </ul> </li> <li>○起業マインド醸成事業・調査広報事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の寛容性向上事業費（負担金等）26,891千円</li> <li>・首都圏での地域の魅力調査費（委託料等）2,500千円</li> </ul> </li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>				<p>山形県の真ん中で3町が手を結ぶ！</p> <p>西川町</p> <p>大石田町</p> <p>川西町</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>3町協議会を設立し、企業、関係人口、町民のマッチングの推進を行うとともに、観光協会やパートナーシップ企業と集約意見や事業内容を共有しながら、改善点の明確化と事業向上につなげていく。</p> <p>また、地元金融機関をオブザーバーとし、地域民間事業者等の資金調達や販路確保への支援、マーケティング効果の分析などを手掛けるほか、コアなファンとなるテレワーカー（関係人口）目線でのリズムや受入環境などへの意見把握と事業内容への反映にも取り組んでいく。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+6,135百万円）</li> <li>②サステイブルリズム観光商品造成数単独実施分（+20商品）</li> <li>③サステイブルリズム観光商品造成数連携実施分（+5商品）</li> <li>④ワーケーション・テレワーカー数（+1,200人）</li> <li>⑤テレワーカーと住民の交流事業数（+36事業）</li> <li>⑥調査事業を受けて改善したツアー商品数（+5商品）</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

# 事業概要【山村留学が紡ぐ 第2のふるさと愛好者と創る移住促進・産業創出事業】

申請者	山形県西川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,163,853千円 (497,371千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・町の魅力を包み込んだ”にしかわ山村留学事業”をつくりあげ、移住先として選ばれる地域づくりを目指す。</p> <p>・地域に眠る素材や文化を磨き上げ商品化し、地域商社や町民が自立して稼げる仕組みを構築する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>1. 地域商社の設立と地域資源の洗い出し</p> <p>①地域商社設立と地域資源現地調査(負担金) 76,935千円</p> <p>②山村留学事業の見直しと人材育成(負担金) 37,300千円</p> <p>2. 受入れ環境の整備と商品化</p> <p>①拠点整備と学習環境の整備(委託料) 3,200千円</p> <p>②独自の学習教材作成と交流企画(委託料) 37,753千円</p> <p>③情報の発信とNFT発行(委託料) 5,386千円</p> <p>3. 共助による地域課題解決と雇用創出</p> <p>①移住窓口一元化と雇用拡大(補助金) 36,976千円</p> <p>②課題解決と共助のためのDAO設立(委託料) 27,248千円</p> <p>③新規参加者とリピーターの比較分析(委託料) 22,418千円</p> <p>【設備整備費】</p> <p>2-①拠点整備と学習環境の整備(負担金) 250,155千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地域商社が山村留学の事業推進役として町のビジョンを共有をしながら地域資源を商品化していき、連携企業の助言等を頂きながら稼げる仕組みを構築する。</p> <p>地域おこし協力隊をはじめ、地域住民を巻き込み、意見交換会の実施や参加型イベントなどを通じて意見を吸い上げ、事業内容の精査、地域全体で取り組んでいく姿勢を醸成していく。</p>					KPI	<p>①本事業によるU・I・Jターン者数(+40名)</p> <p>②移住相談件数(+90件)</p> <p>③第2住民票NFT発行数(+600枚)</p> <p>④参加者留学家族者数(+300家族)</p> <p>⑤地域における女性の新たな雇用者数(+10名)</p> <p>⑥本事業による起業及び事業承継者数(+10名)</p>



※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の  
数値は最終  
事業年度ま  
での「KPI増  
加分の累計」  
の目標値

# 事業概要【「道の駅」を核としたローカルビジネス構築事業】

申請者	山形県西川町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,619,163千円 (443,743千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	「道の駅の機能の発揮」×「山の恵みの価値の実現」によりイノベーションを起こし、道の駅を核としたローカルビジネスを構築する。これにより、交流人口・関係人口の拡大はもとより、地場産業における雇用創出を図る。					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <p>○道の駅のコネクターハブ化に関する事業 ・事業推進主体の基盤構築にかかる経費（負担金） 20,000千円</p> <p>○稼ぐ力の創出に関する事業 ・商品企画や販売戦略、販路拡大に向けた専門家による伴走支援（委託料） 49,500千円</p> <p>○ネイチャーポジティブによる成長に関する事業 ・ネイチャーポジティブツアーの造成（負担金） 10,000千円</p> <p><b>【拠点整備事業経費】</b></p> <p>○芝生公園の整備 ・撤去、整地から排水、舗装、植栽 60,500千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	道の駅の指定管理者に、この施設が目的地化する施策の展開に向けて他の企業や大学等と協働し、地域資源を活用した新たな取組みを進めるとともに、利用者の増加等につなげるため、地元の自治会や任意団体からも利用者目線の意見を吸い上げ、事業内容へ反映させる。				KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の観光消費額（+1,001,095,420円）</p> <p>①「道の駅」年間来訪者数（+256,833人）</p> <p>②地ビール等の年間出荷額（+61,500,000円）</p> <p>③冷やし温泉利用者数（+48,268人）</p> <p>④体験企画の参加者数（+1,025人）</p> <p>⑤「山の恵み」新ブランド件数（+180件）</p>

# 事業概要【孤立可能性集落における「レジリエンス」×「産業創出」拠点整備事業】

申請者	山形県西川町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	727,424千円 (84,027千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>キノコ等を新たなアウトバウンド商材とすることで、町産品の需要に応えるとともに、新たなアウトバウンド商材とする。</li> <li>キノコやドライフードを製造する施設を建設。通年で働ける働き口を創出することで、移住・定住の促進を図る。</li> <li>集落に生業を創出し、レジリエンスを強化。地域の存続と、精神文化の存続を同時に達成する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】 ○「レジリエンス」×「産業創出」拠点実施設計 74,027千円</p>				 <p>【菌床キノコ栽培施設】</p>  <p>【ドライフード(イメージ)】</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>NTT東日本グループからノウハウの提供を受けつつ、町の第三セクターである西川町総合開発(株)が拠点を運営する。 また、金融機関からの助言や、地域おこし協力隊による援助、地元住民による避難施設としての活用を通じて地域の活性化を図る。</p>				<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①キノコの出荷額 (+55,500千円)</li> <li>②ドライフード出荷額 (+43,500千円)</li> <li>③拠点での雇用者数 (+17人)</li> <li>④拠点の視察・見学者数 (+690人)</li> <li>⑤拠点における町産木材の消費量 (+700t)</li> </ul>

# 事業概要【観光交流3施設機能強化による「町まるごと観光地化」事業】

旧制度（推進）

申請者	山形県朝日町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	96,476千円 (51,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>現在、個々に運営している観光交流の拠点である「朝日自然観」、「りんご温泉」、「道の駅あさひまち」の3施設の運営会社を一つに統合することで、施設間の連携を強化し、町全体への誘客を促すとともに、人材の流動化により効率的な運営を図る。また、町内の観光資源を活用した体験型コンテンツを開発し、インバウンドを含む地域活性化に繋げることで稼げる観光を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光交流3施設の運営会社の統合 20,000千円 ECサイトの導入、HPリニューアル、観光3施設インフォメーションシステム、コテージインフォメーションシステムの導入</li> <li>○地域特産物を絡めたツアーの造成 7,000千円 観光ツアー造成事業（町観光協会へ補助）</li> <li>○新商品開発・プロモーション支援 2,000千円 地元食材を活用した新商品開発・マーケティング調査の支援、販売促進及び地元産品のブランド化に向けたプロモーション</li> <li>○アフターコロナに向けた取り組み 12,000千円 インバウンド観光促進事業 (委託料、需用費、旅費（トップセールス）)</li> <li>○りんご温泉セントラルキッチン機能強化事業 10,000千円 キッチンカー・運搬車両・調理設備の購入</li> </ul>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光交流3施設売上金額（+23,500千円） ②観光交流3施設利用者数（うち外国人観光客数）（+500人） ③朝日自然観コテージの稼働率（+5%） ④観光協会が実施するツアーの数（+7回）		関連URL <a href="https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikinogoannai/seisakusuishinka/sogoseisakukakari/3/2/1563.html">https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikinogoannai/seisakusuishinka/sogoseisakukakari/3/2/1563.html</a>



# 事業概要【観光交流拠点施設「朝日自然観コテージ村」再整備による 高付加価値化の創出と持続可能な滞在型観光推進事業】

旧制度（拠点）

申請者	山形県朝日町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	705,607千円 (404,134千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	朝日自然観コテージ村を観光交流の拠点施設と位置づけ、多様化する観光ニーズへの対応と持続が可能な魅力ある施設に再整備し機能を強化していく。コテージ村エリア全体の高付加価値化と利便性の向上を図るとともに、町有観光交流3施設の連携をもとに町全体の活性化と交流人口の増加に取り組む。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>朝日自然観敷地内及びその周辺において、食や自然を活かしたソフトプログラムを実施し、自然を満喫できる施設としてブランドイメージを構築し観光客の利用促進を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 コテージSタイプ2棟模様替え工事 40,023千円 コテージAタイプ9棟新築工事 220,265千円 管理棟1棟新築工事 57,051千円 など</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【外構工事】 上下水道工事23,305千円、構内電気埋設工事20,406千円 構内道路工事12,289千円、工事監理 945千円 既存コテージ解体工事7棟10,561千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光消費額（+71,000千円） ②観光交流3施設利用者数（+65,000人） ③朝日自然観コテージの稼働率（+16.0%） ④観光協会が実施するツアーの数（+9回）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikinogoannai/seisakusuishinka/sogoseisakukakari/3/2/1563.html">https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikinogoannai/seisakusuishinka/sogoseisakukakari/3/2/1563.html</a></p>



# 事業概要【「新宅今井家」を活用した来訪者及びインバウンド推進】

申請者	山形県朝日町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	30,486千円 (29,986千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	古民家「新宅今井家」を活用し、インバウンドや交流人口の拡大を目指しているが、機能面の課題もあり、頭打ちとなっている。母屋や蔵、広場を改修し、マルシェ会場の機能アップや古民家を活用したおもてなしを行うことで、来訪者やインバウンド（訪日外国人旅行者）の誘客に取り組む。本施設を活用し、交流人口を増やし、周遊観光のにぎわいを起こしていくことで、地域全体の活性化を図る。					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建築物本体工事5,774千円 (母屋屋根改修、蔵耐震補強工事、監理業務)</li> <li>○建築物と不可分な設備工事19,634千円 (台所改修、トイレ改修、空調設備、浄化槽設備ほか)</li> <li>○外構工事4,154千円 (アスファルト舗装、フェンス設備)</li> <li>○既存施設の解体98千円 (小屋解体)</li> <li>○ネット環境整備326千円 (w i - f i 機器設置、設定)</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>地域商社やまちおこし団体、農家民宿経営者と連携し今井家を活用したインバウンド強化、交流人口の拡大に取り組む。</p> <p>観光・交流の拠点として活用する上で商工会や商店街事業者との連携を強化し、着付け体験や商店街探索の組み合わせ等、効果的な事業の検討を行う。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額 (+99,000千円)</li> <li>②観光交流3施設利用者数 (+119,400人)</li> <li>③新宅今井家(母屋、蔵)の来訪者数 (+450人)</li> <li>④新宅今井家(広場)を活用したイベント参加者数 (+400人)</li> <li>⑤インバウンド推進員が実施するツアーの数 (+5回)</li> <li>⑥マルシェ1回あたりの出店者数 (+6者)</li> </ul>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【転入若者と地域住民との相互交流の活性化による若者の移住定住促進事業】

申請者	山形県舟形町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	84,000千円(42,000千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>令和6年4月に高度な農業経営者育成を目指す山形県立東北農林専門職大学が新庄市に開学した。本事業は大学生が本町に誘致する民間アパートに居住し、交流施設等における地域住民等との交流活動を通じてながら第2次人口対策(卒業後の町内就職)、第3次人口対策(結婚・住宅取得)につなげていく、総合的なプロジェクト事業である。</p>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【学生向け民間アパート整備補助金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設名称:山形県立東北農林専門職大学生向け民間アパート</li> <li>○誘致計画:令和7年度は第3期生向け第3号棟、令和8年度は第4期生向け第4号棟を誘致</li> <li>○棟数戸数:1棟10戸</li> <li>○事業者:株式会社クリエイト礼文(公募型コンペにより決定)</li> <li>○町と連携:町は本交付金を活用し建設に対する補助金交付の形で支援を行う。42,000千円</li> <li>○施設機能:1戸1K(約30㎡)、家具家電付き、消融雪設備、Wi-Fi設備</li> </ul>					 <p>学生向けアパート(イメージ写真:1号棟)</p> <p>第1号棟、第2号棟ともに満室となり、大学側からの要望も受け、民間事業者と連携しながら、第3期生、第4期生の入学に合わせて、第3号棟、第4号棟を誘致していく。</p>	
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(株)クリエイト礼文:学生向け民間アパートの建設及び管理運営を行う。</li> <li>○山形県:同大学の設置・運営者。大学と最上管内市町村とをつなぐ全体調整を行う。</li> <li>○東北農林専門職大学:令和6年4月に開学した本プロジェクトの中核をなす大学。学生においては本町に居住し、若者によるまちづくりの主役を担う。</li> <li>○地域おこし協力隊:農業系業務に就く協力隊員。学生と農業者をつなぐ役割を担う。</li> <li>○町内会や地域住民:第2次、第3次人口対策に向けた学生との交流の役割を担う。</li> </ul>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数(+100人)</li> <li>②町内で1ヵ月以上アルバイトをした学生数(+15人)</li> <li>③町内会主催の地域活動への参加学生数(+25人)</li> <li>④交流施設における交流者数(+660人)</li> <li>⑤学生による年間SNS発信数(+29回)</li> <li>⑥町内イベントへの年間スタッフ参加学生数(+10人)</li> </ul>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【小さな村の大きな拠点づくり事業】

申請者	山形県大蔵村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,321,324千円 (352,522千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 様々な行政サービスを受ける住民が、気軽かつ意欲的にあつまる交流拠点スペースを造設し、次世代に向けた交流エリアを集約する。</li> <li>• 若者から高齢者までが、活発で意欲的なコミュニティーエリアとなり、それら利用率の向上を目指す。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交流拠点スペースの建設及び整備</li> <li>・施設整備 352,522千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県大蔵村 ・大蔵小学校 ・大蔵中学校</li> <li>・大蔵村芸術文化協会 ・Oh蔵SPORT ・自治会</li> </ul>				KPI  ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域人口増減数 (+30人)</li> <li>②施設年間利用者数 (+81,000人)</li> <li>③住民利用者満足度の増加 (+560%)</li> </ul>

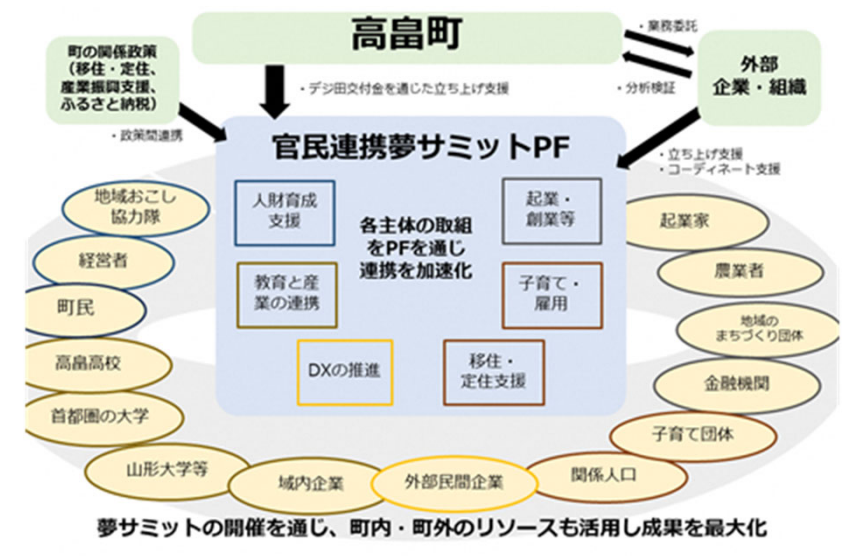
# 事業概要【SNS発信及び周遊等の強化による地域活性化事業】

申請者	山形県鮭川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	45,750千円 (7,350千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>鮭川村は、豊かな自然環境と独自の文化を持つ地域であり、特に「サッキー」というゆるキャラは、村の観光資源として重要な役割を果たしています。近年、観光客数が減少傾向にある中で、デジタル技術を活用した情報発信や地域資源の魅力を高める取り組みが求められています。これにより、村の興味人口や関係人口を増やし、地域経済の活性化やふるさと納税の増額などを図ります。また、村内における周遊に向けた取り組みを実施することで、地域経済の活性化を図ります。</p>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○サッキーのデジタル化等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッキー SNS 配信関連 (補助金) 8,500千円</li> <li>・村内周遊・観光及びツアー造成等 (委託料・補助金) 12,700千円</li> <li>・情報発信デジタル化 (村lineアカウント強化・パンフレットデジタル化) 7,500千円</li> <li>・エコパークイベント 3,000千円</li> <li>○エコパークコインシャワー導入等 19,550千円</li> </ul>					<p>1.0 イラスト印刷物など 2.0 キグルミ イベント・アトラクション 3.0 デジタルアバター SNS・動画・AR 自律会話bot</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会・鮭川村菌茸生産組合連絡協議会・鮭川村観光協会などの企業団体や鮭川村、また、さげがわ友遊クラブという総合型地域スポーツ文化クラブから構成されるむらづくり支援協議会を運営している。そして、むらづくり支援協議会にて、連携し事業計画を策定し、各種イベントの実施や事業計画を策定する。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>① 宿泊観光客数 (+2,400人)</p> <p>② 観光入込客 (+250百人)</p> <p>③ 新たに開発した観光資源数 (+8件/5年間)</p> <p>④ SNS フォロワー数 (+2,200人)</p>

# 事業概要【人材育成を軸とした夢サミットプラットフォームによる官民協働のまちづくり事業】

旧制度（推進）

申請者	山形県高畠町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	206,000千円 (81,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>高畠夢サミットの開催と夢サミットプラットフォームの設立（取組①）</li> <li>地域課題の解決を図る起業・創業の実現と経営人材の育成（取組②）</li> <li>高畠高校の教育の魅力化と産業、町民、高畠ファンとの連携（取組③）</li> <li>官民連携の子育てネットワークの環境整備と社会全体で子育てを応援する機運の醸成（取組④）</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>○高畠夢サミットプラットフォーム構築事業（取組①） 委託料、謝金、請負：33,000千円</p> <p>○経営人材・起業家の育成支援（取組②） 委託料：15,000千円</p> <p>○課題解決型ビジネスのパイロットプロジェクトの実施 補助金：15,000千円 補助率1/2（上限3,000千円）</p> <p>○課題解決型社会実験の実施 補助金：5,000千円（定額）</p> <p>○中高生が地域とつながる学びの場の創出（取組③） 委託料：6,000千円</p> <p>○まちまるごと子育て推進事業（取組④） 謝金、委託料、人件費等：7,000千円</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業実施期間中の地域の人口減の緩和（+80人）</li> <li>②課題解決型起業創業新規プロジェクト数（+13件）</li> <li>③夢サミット参加者数（+200人）</li> <li>④中高生による学びのヒアリング実施件数（+1万件）</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中</p> <p>（効果検証）調整中</p>




# 事業概要【多様な主体の参画による二拠点居住の魅力創出事業】

申請者	山形県高畠町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	20,600千円 (7,260千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後のまちづくりの中核を担うことのできるの都市圏在住の20歳～40歳台をメインターゲットとし、地方でも多様な働き方があることを知り、「自分らしく」暮らすことのできる生活イメージを具体化することを可能となる二拠点居住事業を実施し、当町が若い世代に選ばれる地方の代表となることが当該事業の目的である。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○町内外における二拠点居住事業協力事業者の拡大に向けた実証経費 (委託料 4,500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内事業者との新規連携による事業実施体制の構築経費 (人件費、消耗品費等)</li> <li>・幼稚園や小学校、中学校等への体験入学制度の確立と事業実施経費 (子育て世帯向けワークショップ等に参加しているリモートワーカー等への周知経費 (人件費))</li> <li>・二拠点居住を検討する家族の副業チャレンジ希望について、具体的な情報を得るための調査、及び事業実施経費 (人件費、印刷製本費、消耗品費等)</li> </ul> <p>○行政が「ハブ」となり、町民・民間企業・大学機関が活躍できる場の創出における実証経費 (委託料 1,440千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内NPO法人等との新規連携による大学生・大学院生との連携事業経費 (県外におけるプロモーション経費 (人件費、印刷製本費、消耗品費等))</li> </ul> <p>○二拠点居住を「やってみる」場 (宿泊拠点) の整備 (補助金 1,320千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二拠点居住体験施設として、地域コミュニティ活動等にて使用されている施設の改修を行う団体に対する補助。</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>町内事業者が、町外者と町内事業者の繋ぎ役となり、二拠点居住者の副業サポートなどの支援を行っていく。受入を進める中で明らかになる課題を抽出し、事業のブラッシュアップを行っていく。また、町内小中学校と共に、二地域居住者の受入調整を行っていく。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域のUIターン数 (+20人)</li> <li>②町内民間事業者や地域住民が主体となり、新たに開始された関係人口創出・二拠点居住事業による来町者 (+65人)</li> <li>③二拠点居住事業における連携大学数 (+10大学)</li> <li>④二拠点居住事業における連携民間企業数 (+15社)</li> <li>⑤二拠点居住事業で来町した人のうち、移住コーディネーターや民間事業者がサポートした人の数 (+25人)</li> </ul>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	


# 事業概要【川西まちなかテラスを核とした、あつまる・かかわる・つながる“にぎわいづくり”プロジェクト】

申請者	山形県川西町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	88,734千円 (42,181千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・官民連携によるプラットフォームを構築し、地域資源とデジタル技術を最大限に活用しながら観光客や関係人口を拡大することにより、観光消費額の増加による地域経済の好循環が生まれ、川西まちなかテラスを核として「にぎわい」が生まれ続けるまちを目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>○推進基盤の構築（ソフト・ハード）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいづくり協議会 運営費（需用費） 167千円</li> <li>・川西まちなかテラスにおける観光ワンストップ窓口と交流空間の整備（委託料、工事請負費、備品購入費） 18,682千円</li> </ul> <p>○高付加価値型観光事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高付加価値型観光コンテンツの実証経費（使用料、報償費、需用費、委託料、負担金） 1,209千円</li> <li>・ICT等を活用した情報発信（役務費、委託料） 3,814千円</li> <li>・高付加価値型観光事業推進補助金（補助金） 10,384千円</li> </ul> <p>○かわにしファンの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわにしファン拡大事業補助金（補助金） 1,600千円</li> <li>・プレイベント開催経費（報償費、需用費、役務費、使用料） 500千円</li> <li>・観光振興・交流推進事業補助金（仮称）（補助金） 600千円</li> </ul> <p>○デジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化推進プログラム実証経費（委託料） 5,225千円</li> </ul>					 <p>集い、交流、にぎわいの場の創出に向けて整備を進めている川西まちなかテラス</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>官民連携によるプラットフォームとして、「にぎわいづくり協議会」を創設し、各主体がそれぞれの役割を果たしながら、持続可能な「にぎわいづくり」を推進していく。</p> <p>また、各主体間での情報共有を積極的に行い、事業の効果検証、事業改善を図る。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光消費額（+642百万円）</li> <li>②観光客数（+71,292人）</li> <li>③川西まちなかテラス利用者数（+18,480人）</li> <li>④デジタル化推進プログラム参加者数（+150人）</li> </ul>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【産官学金労言が連携した川西版地域経済エコシステムの構築による“しごとづくり”プロジェクト】

申請者	山形県川西町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	56,858千円 (19,806千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本町の強みである一次製品の生産者育成と付加価値向上を図る。</li> <li>• 町内の中小、小規模事業者の人材育成や新事業へのチャレンジ等を支援するとともに、創業支援や企業誘致を図る。</li> <li>• 協業やイノベーションを誘発する環境（コワーキングスペース、シェアオフィス）の整備を行う。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>①一次製品の生産者育成支援 新規就農支援、女性農業者支援（補助金）960千円</li> <li>②一次製品の付加価値向上 オリジナルダリア生産振興（委託料、需用費）832千円 米沢牛消費宣伝（負担金）400千円</li> <li>③製造業者、商業者の人材育成・事業支援 支援体制整備（補助金）6,000千円 人材育成、雇用対策（補助金、委託料、需用費）640千円 イノベーション支援（補助金、負担金、需用費）3,934千円</li> <li>④創業支援と企業誘致 創業支援、企業誘致（補助金、委託料）3,253千円</li> <li>⑤協業やイノベーションを誘発する環境整備 シェアオフィス、コワーキングスペース整備 （工事費、備品購入費）3,787千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>官民連携による「にぎわいづくり協議会」を創設し、各主体がそれぞれの役割を果たしながら、一貫した事業の実施体制を整え、「しごとづくり」を推進していく。</p> <p>また、各主体間での情報共有を積極的に行い、事業の効果検証、事業改善を図る。</p>				KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規雇用者数（+60人）</li> <li>②認定新規就農者数（+9人）</li> <li>③創業または新分野進出社数（+12社）</li> <li>④インキュベーション施設利用者数（+4,500人）</li> <li>⑤新商品・サービス数（+6件）</li> </ul>

# 事業概要【デジタルとリアルでつなぐウェルビーイングなファンコミュニティの構築事業】

申請者	山形県小国町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	68,200千円 (26,400千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで獲得してきた協働人口と町との関係性を持続し密にするウェルビーイングなファンコミュニティを構築し、デジタルからリアルな観光に繋げることを目指す。</li> <li>デジタル技術を活用した新たな手法での関係人口の獲得を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 観光地域マーケティングを実施し、明確なターゲットや課題に基づいた観光施策を検討し、各種データやデジタルコンテンツを活用できる人材を育成する。また、実際に訪れなくとも体感できるデジタルコンテンツを整備し、バーチャル体験を充実させることでリアルな訪問につなげる。さらに、デジタルファンコミュニティ空間を構築し、地域住民とファンとの交流を促進する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光地域マーケティングとデジタル人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集及び分析と人材育成（委託費）6,600千円</li> </ul> </li> <li>○デジタル観光コンテンツ整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツの造成、旅前プロモーション及びリアルイベントの実施（委託費）8,800千円</li> </ul> </li> <li>○デジタルからリアルへつなぐフードツーリズム事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ化する食・食文化探し（委託料）6,600千円</li> </ul> </li> <li>○デジタルファンコミュニティの構築事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ構築のための調査事業（委託料）4,400千円</li> </ul> </li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>観光DMOと連携して事業を進め、定期的に行われる会議に町職員が出席し、進捗状況を共有し事業内容に反映させる。</p> <p>地域総合商社と定期的なミーティングの場を設け、地域内の声を事業に反映するとともに、構築したファンコミュニティ内での特産品の販売、イベントを実施する。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+17,000千円）</li> <li>②本事業におけるイベント参加者数（+130人）</li> <li>③デジタル観光コンテンツ数（+3件）</li> <li>④デジタルファンクラブ会員証発行数（+60件）</li> </ul>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業】

申請者	山形県小国町ほか46自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,895,362千円 (1,319,812千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全国の小規模市町村が広域に連携することで、地域・学校の壁を越えた学びの機会と人の流れを創出し、地域課題解決型の人財を育成する</li> <li>• さまざまな地域との交流を通じて、生徒達が「複眼的かつ客観的な視点で、地域課題を分析・解決できる力」を養うと中で、地域に愛着をもった関係人口となり、将来にわたって各地域の持続可能性向上に貢献する</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】全国の市町村とともに「小規模市町村ネットワーク」を形成し、以下の3つのテーマに沿った取組を行っていく。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>①デジタル活用による、地域・学校の壁を越えた課題解決型人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン課外活動等の実施（委託費等）26,664千円</li> <li>・人材育成サポートスタッフの配置・育成（人件費等）89,449千円</li> </ul> <p>②新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外も含む多様な生徒募集の実施（実施経費等）93,511千円</li> <li>・多様な留学生の受け入れ体制整備（委託費等）508,469千円</li> <li>・多様な留学生の受け入れ施設の整備・改修（改修費等）301,744千円</li> </ul> <p>※交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費の対象</p> <p>③自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源獲得プロジェクトに係る費用（委託費等）41,281千円</li> </ul>					<div style="text-align: center;"> <p><b>市町村ネットワーク</b> 47市町村による共助・共創</p> <p>単独では対応困難な事業を協働で推進</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;">デジタル活用による人材育成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffe6e6;">新たな人の流れづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6ffe6;">見える化、資源獲得</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>持続可能なかたちでの課題解決型人材の育成</p> <p style="background-color: #ffe6e6; padding: 5px; display: inline-block;">・地域に愛着を持つ関係人口の増加 ・各地域の持続可能性向上</p> </div>	
地域の多様な 主体の参画	<p>参画市町村（官）、各地域の高校（学）に加えて、地域教育、人材、旅行、国際などの分野に専門性を持つ民間・公益団体（産・金）が参画し、小規模市町村ネットワークと連携する。これにより、越境プログラム、海外との連携、持続可能な運営に向けた支援など、多角的な取組を推進する。さらに各地域においても、商工会等の経済団体、地域金融機関、大学・研究機関など、多様な関係者が連携し、地域資源を活かした交流機会や大学・研究機関の専門的な知見等を反映し、取組の改善にも取り組む。</p>					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①外部から地域に越境し居住する中高生の数（+258人）</li> <li>②越境プログラムに参加した中高生の数（+179人）</li> <li>③オンラインプログラムに参加した中高生の数（+494人）</li> <li>④課題解決型人材の育成に係る指標（+12.0ポイント）</li> </ul>

※山形県小国町、北海道夕張市、北海道上ノ国町、北海道奥尻町、北海道二セコ町、北海道音威子府村、北海道幌加内町、北海道苫前町、北海道湧別町、北海道大空町、北海道むかわ町、北海道上士幌町、北海道鹿追町、北海道標津町、岩手県花巻市、岩手県西和賀町、岩手県大槌町、岩手県岩泉町、山形県金山町、山形県遊佐町、福島県只見町、福島県金山町、新潟県胎内市、新潟県阿賀町、石川県能登町、福井県坂井市、長野県白馬山麓事務組合、静岡県伊豆市、静岡県川根本町、京都府京丹波町、奈良県五條市、島根県奥出雲町、島根県川本町、島根県海士町、岡山県真庭市、岡山県和気町、広島県北広島町、広島県大崎上島町、愛媛県砥部町、高知県土佐町、高知県本山町、鹿児島県錦江町、鹿児島県南大隅町、沖縄県久米島町、北海道平取町、北海道弟子屈町、宮崎県えびの市の広域連携事業

# 事業概要【日本の紅（あか）をつくる町推進事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	17,567千円 (5,900千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紅花生産の継続を図り、紅花での観光振興を図る</li> <li>・安定した生産環境の維持を図る</li> <li>・紅花文化の継承を図る</li> <li>・紅花を活用した、白鷹ブランドの確立を図る</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紅花畑の栽培維持及び加工品の生産向上に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・紅花栽培の技術に関する課題検討・調査・研究及び対策 (委託料) 1,000千円</li> <li>・紅花栽培及び一次加工品生産に係る支援 (委託料、補助金) 3,700千円</li> </ul> </li> <li>○紅花関連商品の開発費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発支援に係る費用(補助金) 100千円</li> </ul> </li> <li>○紅花栽培の情報発信と紅花PRイベントの開催(委託料) 900千円</li> <li>○紅花栽培者と紅花摘み手等をつなぐオンラインを活用したマッチングシステムの構築(委託料) 100千円</li> </ul>				<b>実施体制等</b> <pre> graph TD     A[白鷹町] -- 委託料 --&gt; B[日本の紅をつくる町推進協議会]     B -- 補助金 --&gt; C[紅花生産者等]     </pre> <p>商工会・観光協会等から構成する推進主体</p>	
地域の多様な 主体の参画	観光協会や商工会等と連携し、商品開発に取り組み、観光資源として活用する。町内小・中学校及び高校と連携し、児童・生徒が紅花の積み手として、本事業への参画を図る。				KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①紅花一次加工品の生産量 (+4kg)</li> <li>②紅花関連商品の売上金額 (+250,000円)</li> <li>③紅花関連イベント参加者数 (+400人)</li> <li>④修景用紅花栽培面積 (±0a)</li> </ul>




# 事業概要【～新たな人の流れで町を活性化～ 多様な人材還流促進事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,500千円 (18,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>移住者として本町の定住人口となるUIターンはもちろんのこと、定住には至らないものの、本町に関心を持ち、継続的に多様な形で関わる関係人口を増加させる。それら関係人口が実際に町と関わって地域住民と交流を重ねるうえで、地域課題の解決や地域の担い手としての役割を担うというような新しい人の流れを形成する。それらの動きを通じ人口減少によって機能低下した町を活性化する新しい人材として活躍できる環境を構築する。</p>					
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○情報発信基盤整備と都市部等の関係人口が町に関わり続ける仕組み構築（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信基盤整備1,000千円</li> <li>・登録ツールの構築1,000千円</li> <li>・都市部における若者や町出身者との交流イベント開催3,500千円</li> </ul> <p>○移住支援のワンストップ窓口（一元管理）化と移住体験の充実（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住支援のワンストップ窓口化4,500千円</li> <li>・よりリアルな移住体験の提供 5,500千円</li> </ul> <p>○外国人の受入体制整備（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の受け入れ体制づくり 3,000千円</li> </ul>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>➢ 人口減少による人材不足・地域づくりの担い手不足に対応するため、移住・定住につながる関係人口構築を推進</p> <p>➢ 今後、地域産業の担い手として期待される外国人の受入体制整備</p> </div>	
地域の多様な主体の参画	<p>農業法人・農業者等の一次産業生産者と連携を図ることにより、都市部住民と継続した関わり持つことができるイベントやツアー開催を実施する。</p> <p>町内をフィールドワークの場として活動してきた大学生とも連携し、事業の企画運営において若者の視点を反映し事業展開に取り組む。</p>				<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数（+15人）</li> <li>②本事業で実施する関係人口登録者数（+60人）</li> <li>③本事業で実施する移住体験者数（+8人）</li> <li>④町内に住民票を有する外国人数（+10人）</li> </ul>

# 事業概要【子育て支援・健康応援推進事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	33,500千円 (16,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>・地域産業、地域文化を支える人材の確保に向けては、町内の子育て世代や生産年齢人口が、さらには高齢者が活躍することが必要となっている。その基盤となるのが健康であることから、子どもから高齢者までの全町民が自分に合った健康づくりを実践できる仕組みを構築する。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>○関連DXツールの試験導入 5,000千円（委託料）                  ○自身の健康データ利活用デジタルツール構築 3,000千円（委託料）                  ○町立病院と連携した人間ドック受診から生活習慣改善トータルサポートプログラム構築 3,000千円（委託料）                  ○SNSでの精密検査受診勧奨、生活習慣改善指導フォローアップの仕組み構築 2,000千円（委託料）                  ○自助意識の醸成・活躍するボランティア・高齢者等の支援の仕組み構築 3,000千円（委託料）</p>					
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>本町の健康増進等に関する事業を円滑に推進するため、関係者・有識者等で組織する「白鷹町明るい健康都市づくり推進会議」及び子どもの保護者や子育て支援に関する関係機関・学識経験者で組織する「子ども・子育て推進会議」にそれぞれの代表者が参加していることから、当該会議において意見聴取を行うとともに、評価いただき事業へ反映していく。</p>				KPI	①地域の人口数（▲1,252人） ②この町で子どもを産み育てていきたいと思う人の割合（+12%） ③要介護認定率（▲0.5%） ④運動習慣者の増加率（+5%）
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【地域循環型白鷹ウェルネスツーリズム推進事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	75,000千円 (20,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内観光資源を循環させた滞在型の「ウェルネスツーリズム」の確立により、観光消費額の増加を図る。</li> <li>町内観光資源の磨き上げやマーケティングに基づく観光コンテンツの開発、情報発信により持続可能な観光事業の基礎をつくる。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <p>①基礎調査・分析 15,000千円（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊や体験可能な施設等の観光事業者に対する市場調査・現状分析業務</li> <li>・既存イベントの市場調査・現状分析業務</li> <li>・町民へ対するアンケート調査等による観光資源の洗い出し業務</li> <li>・その他、ウェルネスツーリズムの構成要素なる町内資源調査業務</li> </ul> <p>②プラットフォームの構想策定 4,000千円（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダーの洗い出し・体系化のための支援業務</li> <li>・ターゲットの設定のためのコンサルティング業務</li> <li>・ウェルネスツーリズム構想策定支援業務</li> </ul> <p>③推進組織の構想策定 1,000千円（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの構想の推進とステークホルダーとの合意形成を行うためのコアとなる組織の構想策定支援業務</li> <li>・専門知識を有する人材の確保支援業務</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の市場調査、分析</li> <li>・資源の洗い出し・磨き上げ</li> <li>・ウェルネスツーリズム構想の策定</li> </ul>  <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進組織の立上げ</li> <li>・ステークホルダーとの合意形成</li> <li>・プラットフォーム開発</li> <li>・体験型プログラムの造成</li> </ul>  <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在型観光の確立！</li> <li>・観光事業の持続性（稼ぐ力）UP！</li> <li>・観光事業の組織力UP！！</li> </ul> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>観光協会や商工会等と連携を図ることにより、ステークホルダーとのスムーズな合意形成と町内全体での事業展開に取り組む。</p> <p>移住施策と連携し、首都圏でのニーズ等を適宜共有するとともに、町外イベントを実施し、体験型観光コンテンツを活用した事業展開に取り組む。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①町内観光消費額（+151.5百万円）</li> <li>②観光客数（+230千人）</li> <li>③本事業で実施するプラットフォームの登録者数（+1,100人）</li> <li>④本事業で実施する観光コンテンツ数（+27事業）</li> </ul>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【女性・子育て世代・若者に選ばれる「暮らし」と「しごと」ブランディング事業】

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	239,289千円 (35,316千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・近年の0～4歳児の転入超過の傾向を本町の『強み』としてブランディングすることに加え、町内企業に働きかけて、若者・女性に選ばれる職場づくりに取り組む。また、若者・女性に選ばれる暮らしには、住まいが必須であることから、町が大規模に投資し、子育て世代、若者に選ばれる住居の整備を行う（本事業では、移住お試し住宅を整備）。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】 ○女性等に対する町の子育て施策のブランディング ・子育て世代、女性目線での暮らしやすさの取材調査・戦略作成 3,900千円（委託料） ○女性等に選ばれる職場の実現 ・企業向けアンケート調査・ヒアリング・戦略作成 5,000千円（委託料） ・企業への働きかけセミナー 1回 500千円（委託料） ・親世帯や保育所のワークショップ 1回 600千円（委託料） 【拠点整備事業経費】 ○女性等に選ばれる暮らしの実現（住まいの確保） 若者移住促進お試し住宅整備 ・用地造成 25,316千円</p>					<p>女性・若者に選ばれる職場</p> <p>若者等移住お試し住宅整備</p> <p>子育て施策の充実</p> <p>一体的にブランディング</p> <p>女性・若者に選ばれるまちづくり</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>本事業の趣旨に賛同した地元企業と随時情報交換を行い、モデル的に女性等に選ばれる職場づくりに取り組む。 町内保育施設や大学等の専門化の視点から事業改善方策の意見を吸い上げつつ、他の関係機関と連携しながら、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<p>①本町の人口数（社会減数の抑制）（+4人） ②0～4歳の転入者数（+10人） ③20～24歳の転出者減少数（+10人） ④本事業によりイメージアップに取り組む企業数（+5社） ⑤本事業で整備する住宅への入居者数（+8人） ⑥本事業で整備する住宅入居者の満足度（+80%）</p>

※経費内訳はR7年度事業費


※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【『食と農村交流広場』と連携した女性・若者が創り出す農作物等高付加価値化事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	654,101千円 (41,229千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化加工施設を整備することにより、6次産業化への展開やその過程での各産業間の連携や交流を図り、農業従事者の農業所得の向上や新たな特産品開発、通年での仕事の創出を目指す。</li> <li>新たな付加価値創出へ挑戦する機会をつくることで、本町の資源を活用した6次加工品を開発し、域内の経済循環はもとより、将来的には国外を視野に入れた域外への市場開拓に向けた取組を目指す。</li> <li>取り組む女性や若者が地域を盛り上げ、定住や交流人口の増大など楽しい地方の姿の具現化を目指す。</li> </ul>					
事業概要・主な経費	<p>【ソフト事業】(事業はR8年度から開始)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○6次産品のマーケティング調査</li> <li>○6次産業商品開発セミナー</li> <li>○6次産業化チャレンジ支援事業補助金創出</li> <li>○アドバイザー(仮)ブランディングコーディネーター)設置</li> <li>○ECサイト構築</li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○白鷹町6次産業化推進拠点施設用地の造成工事</li> <li>・工事費 31,229千円</li> </ul>					
地域の多様な主体の参画	町内農業者が施設指定管理者等のサポートを得ながら、地元農産物を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、農協等、地域内での連携を促進する。 新商品の試作品を施設内で販売することにより、購入者(特に女性や若者)の意見を吸い上げ、ブラッシュアップを図る。				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農業従事者の所得向上 (+700千円)</li> <li>②新規農業従事者数 (+14人)</li> <li>③施設使用率 (+80%)</li> <li>④新商品の開発数 (+3件)</li> <li>⑤新たな販路の開拓数 (+3件)</li> <li>⑥本施設での雇用者数 (+3人)</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

# 事業概要【電動モビリティ地域共創コンソーシアム ものづくりキャリア開発プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	山形県飯豊町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	8,995千円 (2,998千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生から高校生のキャリア開発を支援し人材育成を行い、本町の主要産業である製造業の担い手を確保し持続可能な産業基盤の構築を目指す。</li> <li>本町の貴重な資源である電動モビリティシステム専門職大学への進学を促進し「地元で学び、働き、暮らす」循環を生み出すことで、地域内定着を促進し若年層の町外転出を抑制する。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ものづくりキャリア開発プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ものづくり×デジタル技術実践塾（仮称）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりや情報通信技術などのデジタル化社会を支える人材の育成及び確保を図るため、小学生から高校生を対象としたキャリア開発を支援する事業を委託して実施。（委託料）2,500千円</li> </ul> </li> <li>○企業見学ツアー（仮称）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者移動用バス使用料、資料代など（委託料）499千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本町へのUIターン者数（+9人）</li> <li>②ものづくりキャリア開発プロジェクト参加者数（+60人）</li> <li>③ものづくりキャリア開発プロジェクト参加者のうち、電動モビリティシステム専門職大学への進学者数（+13人）</li> <li>④電動モビリティ地域共創コンソーシアム加盟企業数（+9社）</li> </ul>	関連URL	<a href="https://www.town.iide.yamagata.jp/012/mobility_consorrtium_maintenance.html">https://www.town.iide.yamagata.jp/012/mobility_consorrtium_maintenance.html</a>

# 事業概要【遊佐パーキングエリアタウン（新道の駅）整備事業】

申請者	山形県遊佐町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,957,588千円 (72,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>・新たな道の駅移転整備を軸に本町の魅力を高める観光振興・産業振興、高速道路IC近傍という立地条件を活かした防災機能強化など、様々な機能をあわせもつ施設を整備し、庄内北部地域及び環鳥海のシンボルとなるようなゲートウェイとして、町の発展に資する事業を目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>日本海沿岸自動車道・遊佐鳥海IC出口に直結する敷地に、本町・環鳥海エリアの周遊の拠点となる新たな道の駅を移転整備する。現道の駅は年間約5億円の売上高があるが、新たな道の駅では、現状以上の約9.5億円以上の売上を目指し、魅力的な店舗（物販・飲食）となるよう事業計画を立て、世界ジオパークに相応しい様々な地場産品商品開発に積極的に取り組む。多目的広場、駐車場も整備し、市場環境の変化への対応、老朽化・手狭・非バリアフリー化な現状を改善する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○道の駅の広場外構・駐車場整備（下層路盤工事、側溝工事） 事業費125,000千円（うち交付対象事業費：72,000千円）</p>				  <p>新道の駅イメージ図</p>	
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>指定管理候補者（運営事業者）が本事業の全体総括として物販飲食施設の運営、有名アウトドアブランドと連携した店舗展開の実践を活かした情報発信施設内物販販売施設の運営を担当。 農産業従事者に産直物販で販売する一次産品・加工品を供給してもらい、新規就農者に農産物出品の機会を与え、農産業の持続に繋げる。</p>				KPI	<p>①観光消費額（+1,035,861千円） ②周遊ツアー参加者数（+457人） ③近隣市町村住民来訪者数（+16,105人） ④入込客数（+3,570,000人）</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	